

## 東北地方太平洋沖地震津波に関する合同調査報告会で越村准教授や今井助教が報告 (2011/7/16)

7月16日(土)、関西大学(大阪、高槻ミューズキャンパス)にて、東北地方太平洋沖地震津波に関する合同調査報告会が開催されました。東北地方太平洋沖地震の発生直後、土木学会海岸工学委員会・地球惑星連合等の関係者らによって、津波痕跡調査を行う「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」が立ち上がりました。同グループは大学や研究機関、建設会社など約50組織の約150人で構成されており、地震発生以降、全国の沿岸約5,000地点を調べています。今回は、調査プロジェクトの総括として、調査結果や解析結果に関する包括的な報告が行われました。当センターからは、越村准教授が東北地方の津波来襲状況について、今井助教が宮城県南部の津波被害についての調査結果を報告しました。以下は、当センター構成員による報告題目です、同グループによる調査結果および発表に使用された予稿やスライドは下記のURLよりダウンロードすることができます。

〈宮城県南部〉

今井健太郎, 今村文彦, 越村俊一, 菅原大助, サッパシー・アナワット, 佐藤翔輔: 宮城県南部沿岸域における津波被害の特徴

〈東北地方〉

越村俊一: 東北地方における津波浸水範囲および津波被害の調査—津波来襲状況の解明と被害関数構築に向けて—

田中仁, 真野明, 慮敏: 津波の河川遡上

※下線はセンター構成員



東北地方太平洋沖地震津波  
合同調査グループウェブサイト

<http://www.coastal.jp/ttjt/index.php>

※上記サイトより、痕跡調査結果、予稿集・発表スライドがダウンロードできます。